vol.04
平成27年度 第4号
（年間4回発行 通巻第138号）

# 組合活性化情報
# 中央会とくしま

特集1
## 四国の元気な組合を紹介します

特集2
## マイナンバー制度（第2回）
## ～ハローワークとマイナンバー～

徳島県中小企業団体中央会　http://www.tkc.or.jp/

# 組合活性化情報
# 中央会とくしま

vol.04
平成27年度 第4号
（年間4回発行 通巻第138号）

特集① 四国の元気な組合を紹介します 2

特集② マイナンバー制度（第2回）
～ハローワークとマイナンバー～ 9

ものづくりの達人 馬居化成工業株式会社 10

組合ホットニュース 13
◎徳島県中古自動車販売商工組合青年部
チャリティボウリング大会開催
◎徳島ステンレス工業協同組合
四国化工機(株)が優秀企業賞を受賞

中央会トピックス 14
◎小企業者組織化特別講習会開催
◎組合管理者講習会開催
◎中央会が徳島県企業BCPに認定されました
◎「災害時中央会間連携協定事業」に係る交流事業開催
（鳥取県鳥取市）

青年部コーナー 16
◎青年部活動トピックス

情報連絡員レポート 17
平成28年1月の景気動向

ちょっとお時間いいですか 「父と母」 18

楽にいこう 20
『あなたが変われば世界も変わる
～どんな行動の背景にも「肯定的な意図」がある～』

表紙絵

作者：徳島県中小企業団体中央会顧問　布川 嘉樹 氏

タイトル：**「徳島城公園の石垣」**

徳島城の石垣は、眉山から切り出された「阿波の青石（緑色片岩）」を多く使った緑色の石垣として知られています。石垣の積み方は時代によりさまざま。初期に造られた本丸東側の石垣は自然石をそのまま積み上げた野面積みで迫力満点。最も新しいのは大手門付近の太鼓櫓で、乱積みではなく整層積みになっています。桜の時期には桜と石垣、お濠の共演は圧巻です。

特集 1

# 四国の元気な組合
## ～平成27年度組合資料収集加工事業から～

昭和57年度から全国中央会と都道府県中央会が連携し、環境変化に対応した共同事業などに先進的に取り組んでいる組合の諸事例を収集して、その活動や共同事業の手法などを他組合へ移転することを目的に、組合資料収集加工移転調査研究事業を実施しております。

平成27年度の収集テーマは、「地域の魅力発信によるグローバル需要開拓」「地域産業を担う人材の確保・育成」「組合事業による新たな展開」の３つを取り上げ、専門家の協力を得ながら詳細な調査･分析を行いました。本誌では、これらのテーマに取り組んでいる四国の先進組合事例の抄録を紹介いたします。

## A　地域の魅力発信によるグローバル需要開拓

### 道後温泉旅館協同組合（愛媛県）

■住　所　愛媛県松山市道後湯之町６－８　■電　話　089－943－8342
■ＦＡＸ　089－943－8343　■設　立　昭和41年３月　■組合員数　35人
■出資金　4,110千円　■主な業種　旅館業

キャッチフレーズ　**ミシュラン三ツ星観光地の魅力を高めるまちづくり**

事業･活動のキーファクター　**道後温泉の歴史・文化を背景にステークホルダーと積極的に連携したことで、協同組合の資源制約を超えた地域ぐるみの活動により観光地の魅力を高めた。**

### 1 背景と目的

歴史ある道後温泉を囲む宿泊地として栄えた当組合も、人口減少・少子高齢化による国内需要縮小を受け、将来の不安に直面していた。

政策面の後押しにより訪日観光振興に向けた官民一体の体制整備が進むなか、同組合は外部連携による地域づくりを加速することで、観光地としての魅力向上と集客力強化を図ることとした。

### 2 事業・活動の内容

当組合におけるグローバル化の取組は長く、平成７年「道後温泉国際化指針」に端を発する。当時、まだ外国人観光客に対する組合員の意識は低く、日頃のコミュニケーションや地道なまちづくり活動のほか、国際商談会への継続的な出展を通じて徐々にグローバル意識を高めていった。

地域内では、JNTO（日本政府観光局）認定外国人観光案内所の設置、外国人向けサイン整備等により、受入環境を強化した。組合員が特に苦手とする言葉の壁については、地元大学・短大等から留学生を積極採用して組合員のサポートに充てるなど、組織一体となって取組んだ。さらに地元商工会議所ほか地域団体との協力のもと語学研修会を開催するなど、外国語サービスの品質向上に努めた。また、民間通信事業者・地元大学・自治体等からなる当地のFree Wi-Fiプロジェクトを活用し、スマートフォンなど携帯ツールを多用する外国人旅行者からニーズの高いWi-Fi環境を整備した。

JNTO認定外国人観光案内所

地域外では、台北市温泉発展協会（北投温泉）との友好交流協定締結など文化交流事業のほか、行政・観光関係団体による戦略的取組と地域一体によるまちづくりを強化した。「夢の懸け橋」愛媛松山空港－台北松山空港間チャーター便運航、京都＝広島＝瀬戸内海＝松山を巡る周遊ルートの「新ゴールデンルート」選定など、誘客機能が向上した。

多言語対応パンフレット

## 3 成　果

観光地として魅力が高まり、直近３年間の外国人入込客数は“８千人→1.5万人→２万人”と大幅に増加している。国別では台湾の構成比が45%（平成26年度実績）と特に高く、リピート率も高い。これは、日本最古の歴史をもつ道後温泉を背景とした文化交流や、地域一体で長期にわたり取組んだまちづくり事業の成果と考えられる。

# B　地域産業を担う人材の確保・育成

## 鴨島電気工事協同組合（徳島県）

■住　所　吉野川市鴨島町鴨島318番地４（四国電力鴨島営業所内）　■電　話　0883－24－6798
■ＦＡＸ　0883－24－6797　■設　立　昭和54年９月　■組合員数　82人
■出資金　4,100千円　■主な業種　電気工事業

キャッチフレーズ　**次代を担う電気工事のスペシャリスト育成事業**

事業・活動のキーファクター　**理事長のリーダーシップのもと、青年部及び事務局が主導的な役割を果たすことで、研修・若手育成事業を継続して実施できており、組合員同士のつながりも深まっている。**

## 1 背景と目的

電気工事業界には、時代とともに移り変わるお客様のニーズに合わせた安全・快適な施工が求められており、当組合もそれに伴う知識の向上が重要となっていた。また、組合員企業の世代交代のために、若手後継者の育成及び工事施工に必要となる資格取得が急務であった。そこで、平成16年に現理事長が就任した際、次代を担う若手育成のために勉強会・講習会を地元で開催することとなった。

## 2 事業・活動の内容

エコキュート施工技術講習会

職業訓練学校への電気工事関連書籍の寄贈

理事長のリーダーシップの下、「前向きで活発な組合員のためになる組合事業」及び「地域に貢献する組合事業」を目指し、事務局及び青年部が中心となって勉強会・講習会を企画・実施している。定期的に組合員からアンケートをとることで、企画内容に組合員の意見を反映させている。

地元に講師を招き、様々な資格対策勉強会を夜間及び日曜日に開催しており、「仕事をしながら勉強できる環境」が整えられている。そして工事技能向上のため、「屋内配線工事技能オリンピック」へも積極的に参加している。

また、全日本電気工事業工業組合連合会推奨の「提案型技術営業講習会」をベースにした、新商品・法令改正・電化住宅・省エネ・創エネ等に対応した講習会も継続して開催している。「提案型技術営業」の実践編として、組合員共同で「オール電化フェア」を開催したところ、多くの受注があり、組合員の商品知識及び営業スキルの向上にも役立った。内容が電気工事業務に特化した「パソコン講習会」も開催しており、四国電力の低圧工事インターネット申し込みにもスムーズに対応することができた。青年部活動も活発に行われており、将来の電気工事業を担う若者への支援を目的に、青年部主体で工事を共同受注し、その収益を使って県内職業訓練学校に電気工事関連書籍を寄付し、電気環境システム科で活用してもらっている。

## 3 成　果

若手を中心に多くの組合員が電気工事士の他に管工事・給水工事・消防関連の資格を取得し、組合員の取り扱い工事業務の拡大につながっている。

以上のような研修の充実が組合に加入するメリットとなっており、また各種講習会に参加する機会が増えたことで組合員同士の横のつながりが増え、県内電気工事業者が減少する中、組合員の減少傾向が見られない先進的な組合事例となっている。

## ファーマーズ協同組合（香川県）

■住　所　香川県善通寺市与北町3085番地１　■電　話　0877－43－3578
■ＦＡＸ　0877－56－5118　■設　立　平成20年10月　■組合員数　57人
■出資金　1,000千円　■主な業種　農業、畜産業、食料品製造業

キャッチフレーズ　**就農希望者に多様な農業「経営」のイロハを現場で教える。**

事業・活動のキーファクター　**行政や教育機関に大いに評価されており、講演会や大学非常勤講師を多数勤めている近藤隆氏の、真に農業の若手後継者育成を思う姿勢がもっとも重要である。**

## 1 背景と目的

㈱近藤農園の現代表者である近藤隆氏は、以前より若手就農者の育成事業に取り組んでおり、就農希望者を自社で雇用し、農家経営に必要な知識や技能を習得させ、独立させた後にも経営全般をサポ

ートする「のれん分け就農」に取り組み、成果を上げていた。この経験を土台にして、周囲の農業法人等に呼びかけを行い、賛同してくれた、畜産を含めた農業法人等で組織する「ファーマーズ協同組合」を設立し、就農希望者が自らの望む多種多様な農業経営形態で研修を受けることが可能な仕組みを作り上げた。本研修事業の目的は直接的には「農業経営体における後継者の育成」であるが、このことを通じて香川県の継続的な農業の活性化が期待される。

簿記講習

## 2 事業・活動の内容

本組合のステージは「農業」であり、多種多様な規模や経営形態に応じて、後継者が身につけるべき知識や技能は千差万別である。このことから当初より数値目標は設定していない。本組合で研修を受け、就農に至る流れは、①希望者が応募の意志を連絡、②希望者に適切な農業法人等で「短期研修」を実施、③短期研修最終日に今後について相談し、「長期研修」を受けるかどうかを希望者に選択させ、④１年間の長期研修に移行し、終了後、のれん分け就農、農業法人への就職等により本組合による人材の育成が完了する。苦労としては、組合員になった法人の中には、当初、労災等、労働者の保護について意識の低い組合員もおり、是正を要したことが挙げられる。

青果市場視察の様子

## 3 成　果

研修生はいずれも研修終了後、順調に就農ができており、今後は、これら後継者の活躍により、香川県の継続的な農業の活性化が期待される。この事業がスムーズに実施できているのは参加組合員の経営形態や規模がバラエティに富んでおり、就農希望者が思い描く、将来の就農形態や規模を想定しての研修先選びが可能になっていることが要因である。

また、本組合では、カンボジア、ラオスなどから農業技能実習生を受け入れており、彼らが本国へ帰国した後、現地で農業をスムーズに展開することを助力する目的で、今後は海外農場で農業を行う農業従事者の発掘に力を入れていこうと計画している。

## 讃岐石材加工協同組合（香川県）

■住　所　香川県高松市牟礼町牟礼2625－18　■電　話　087－845－2466
■ＦＡＸ　087－845－2477　■設　立　昭和45年１月　■組合員数　93人
■出資金　32,005千円　■主な業種　石材加工業

**キャッチフレーズ**

**庵治石ソムリエ養成制度により、産地内外の人材を育成**

**事業・活動のキーファクター**

**「庵治石ソムリエ」の養成制度を外部委託ではなく、各メンバーの接遇・説明の技能向上が達成され、産地に対する愛着・理解も深まった。**

## 1 背景と目的

本組合では以前から庵治石の知名度向上を目的とした各種の取り組みを構想していたが、まず、一

般消費者に対する「知名度調査」を実施した。しかし、「高級墓石」としての庵治石について関東圏ではほとんど無名に近い状況との結果は「想定外かつショック」であり、このことを契機として、「ブランドの確立」事業に本腰を入れることになった。

長期的に本事業の効果を増大、定着させるためには、自らの思いを代弁してくれる理解者の存在が重要であるとの認識に至り、全国の石材小売店の経営者や社員を対象とした「庵治石ソムリエ養成制度」を発足させた。これは、庵治石及び庵治産地について正しい理解と認識を持ち、販売プロフェッショナルとして拡販とＰＲに努めていただける「庵治石ソムリエ」の養成を目的とする取り組みである。

採石場見学の様子

加工場視察の様子

## 2 事業・活動の内容

同制度の実施担当は産地３組合の青年部員で構成される「石翔会」である。平成24年度から取り組みを開始し、現在では石材産地体験ツアーの実施が主たる内容である。この体験ツアーは毎回趣向を凝らした内容とするべく石翔会において工夫しており、平成27年11月現在、延べ参加者は100名を数える。同制度を運用するために、自らが産地ＰＲパンフレットの作成や、接遇・説明の技能向上を行っていった過程で、石翔会各メンバーにおいては自らの産地に対しての愛着・理解が深まった。

本事業に取り組んだ当初、組合上層部には、産地ＰＲの必要性に疑問を持つ意見もあったが、体験ツアー実施時に若手メンバーの取り組み姿勢を見せることで、徐々に理解が増していった。

## 3 成　果

同制度を確立するためには、将来可能な限り早期に検定等の体制を整えていく必要があり、そのための取り組みを急いでいる。本事業には20代の若い後継者が積極的に参画しており、将来に大いに希望の持てる展開になっている。また、体験ツアーで得られた各種のノウハウは、他の地域観光ツアーへ十分応用可能であり、庵治・牟礼地域の活性化に寄与する各種の事業への参画も視野に入れている。来年度は当地で「瀬戸内国際芸術祭」も開催されるため、これに関与するイベント等も実施したい。

### 四国タオル工業組合（愛媛県）

■住　所　愛媛県今治市東門町５丁目14－３　■電　話　0898－32－7000
■ＦＡＸ　0898－32－3842　■設　立　昭和27年11月　■組合員数　112人
■出資金　132,880千円　■主な業種　タオル製造業

キャッチフレーズ　**認定制度創設によるプロフェッショナル人材の育成**

事業・活動のキーファクター　**組合を中心に行政や関係機関との連携及び推進体制が構築できたこと。有資格者に対する研修会開催や情報提供、有資格者同士が繋がる機会を提供できたこと。**

## 1 背景と目的

近年、タオル輸入品が急増し国産タオルが売れなくなった理由は、国産タオルの正確な品質の知識

など販売員のスキル不足により、輸入品との価格競争に落ち込んだのが一つの要因であり取り組むべき課題であった。また、衰退する産地には技術の承継者が育たず将来を担う人材確保も難しい状況であり、人材の育成と確保も課題であった。このため組合では認定制度創設によるプロフェッショナル人材の育成に取り組むことにした。

社内技能検定

タオルソムリエ研修会

## 2 事業・活動の内容

今治商工会議所と共同して平成19年度に世界初となる「タオルソムリエ資格制度」を立ち上げた。この制度はタオルに関する「歴史」「文化」「技術」「製品」「顧客サービス」「ブランド」等多岐にわたるタオルに関する習熟度を認定する資格試験制度である。認定によりタオルについて正しく理解し、その知識とスキルを活かして、より良いタオル文化の普及に繋げるプロフェッショナル人材を育成するとともに、全国にタオルの魅力を発信していくことを目的として実施している。

また、技術承継や人材確保の課題を解決するために、優れた技術者にマイスターの称号を授与し顕彰する「タオルマイスター制度」を創設した。この制度の資格要件の一つに社内技能検定合格者としている。社内技能検定はタオル製造に関する知識・技能を客観的に評価することで若手人材の確保及び育成と、伝統ある技術の次世代への円滑な継承を目指し、ものづくり技術の更なるレベルアップを図り、タオルマイスターの輩出を目指すことを目的として実施している。この社内技能検定は厚生労働省認定の技能検定であり、これにより技能振興上奨励すべきものとして認められ、社内技能検定の合格が技術者の目標となっている。

## 3 成　果

タオルソムリエ資格制度は平成27年に第10回目を実施し、全国で2,307名となった。東京地区での合格者が今治地区を上回りプロフェッショナル人材が全国に広がっている。社内技能検定は平成27年に第５回目を実施し合格者が延べ30名以上となっている。

四国タオル工業組合では、有資格者に対する研修会開催や情報提供、有資格者同士が繋がる機会を提供しており、今後も有資格者の拡大が期待される。

# C　組合事業による新たな展開

## 協同組合高知県木材工業団地連盟（高知県）

■住　所　高知県高知市仁井田4502番地　■電　話　088－847－0161
■ＦＡＸ　088－847－0162　■設　立　昭和36年12月　■組合員数　18人
■出資金　78,748千円　■主な業種　異業種（木材、木製品製造業等）

キャッチフレーズ　**組合同士の相互加入による新たな展開**

事業・活動のキーファクター　**課題を共有する者（組合）同士の相互補完及び行政と一体となった事業推進**

## 1 背景と目的

外国産材や集成材との競争等により、長年木材価格は下落が続き、また消費者ニーズの変化への対応も厳しく、製材業の経営を圧迫し続けている。こうした構造的な課題が山積した状況の中、原木加工量が飛躍的に伸びる要因が発生したことから、商品の高付加価値化により組合・組合員の取扱量を伸ばす機会と捉えた。

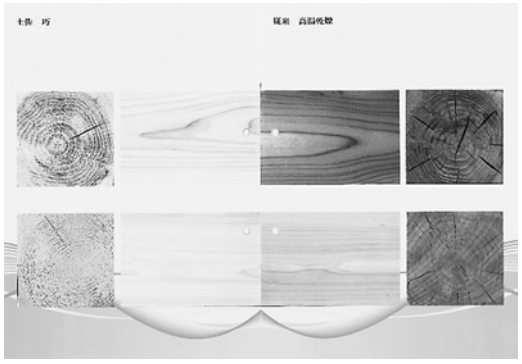
## 2 事業・活動の内容

商品の高付加価値化を図るための高性能乾燥機の設置については、行政の支援（補助金）を導入、販路開拓については、同一団地内にある共同販売事業に特化した組合との相互加入により補完し合うこととした。

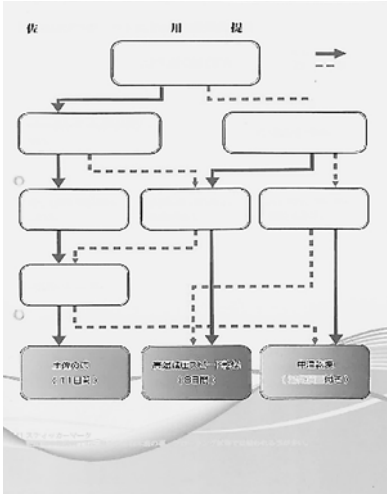
これにより、商品加工はもとより、販路開拓についても組合が積極的に取り組み、加工量・販売量の増大を見込む。

## 3 成　果

事業はまだ緒についたばかりで数字的な結果は出ていないが、今後「土佐の巧」の販売量が上がれば、組合員組合に対する意識の高まりを軸とした組合一体化、高知県の重点施策である「地産外商」への貢献による行政との協力体制強化等幅の広い効果が期待できる。



土佐の巧と従来品の比較



業者向け用途別乾燥提案

特集 2

# マイナンバー制度（第２回）
## ～ハローワークとマイナンバー～

玄番　芳江 氏

**ハローワークにてマイナンバーの取り扱いが2016年１月１日より始まりました。**
**今回は、雇用保険関係手続におけるマイナンバーの取り扱いについて説明します。**

### １．雇用保険関係の手続きでマイナンバーが必要なもの

・雇用保険被保険者資格取得届
・雇用保険被保険者資格喪失届
・高年齢雇用継続給付受給資格確認票・（初回）高年齢雇用継続給付支給申請書
・育児休業給付受給資格確認票・（初回）育児休業給付金支給申請書
・介護休業給付金支給申請書

### ２．マイナンバーの届出が「義務」化へ

雇用保険関係手続きにおけるマイナンバーの届出については、「努力義務」とされていましたが、2015年12月18日に改定された雇用保険法令に基づき、「義務」とされました。

### ３．マイナンバー取得時の本人確認

マイナンバー制度において、なりすましを防止するために本人確認が必要になります。
事業主等が個人番号関係事務実施者になりますので事業主等が本人確認を行えば、ハローワークでの本人確認は不要です。
本人確認は、次の２通りの方法があります。
①マイナンバーカードによる確認
②通知カード等＋身元確認書類による確認

### ４．提出書類の取り扱いについて

マイナンバーを記載した届け出書類は、「特定個人情報」に該当します。流出や紛失がないように、十分注意して取り扱って下さい。また、届け出後にハローワークが発行する雇用保険被保険者証等には、マイナンバーが記載されませんので、今まで通りの管理をすれば大丈夫です。

多くの事業主の方にとって、ハローワークでの手続きが、マイナンバーを使用する最初の機会になるのではないでしょうか。マイナンバー制度は、まだスタートしたばかりです。これからも様々な改正があることが予想されます。最新の情報を確認するようにして下さい。

ものづくりの達人

# 馬居化成工業株式会社

このコーナーでは中央会の助成事業である「中小企業・小規模事業者ものづくり補助金事業」に採択された県内中小企業のものづくりトップランナーをご紹介しています。

第４回目は平成24年度「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業」において「粉体加工技術を適用した高機能性無機化学製品の開発」、平成25年度「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」において「コンクリート構造物の劣化防止のための無機系表面含浸剤の開発」で採択された『馬居化成工業株式会社』様をご紹介します。

同社は、創業417年の伝統と歴史を誇る企業で、時代の変遷に対応した革新的な商品やサービスを生み出されております。昨年には東京にコンセプトショップを開業し、自社ブランドの入浴剤の販売を始めるなど、成長・発展し続けている注目の企業です。

## ❶ 御社は大変歴史のある企業ですが、創業からの経緯や変遷をお聞かせください。

慶長４年（1599年）馬居七郎兵衛が鳴門に塩田を開墾し、製塩業として創業し、馬居化成工業は今年で創業417年を迎えました。

江戸期以降、鳴門は入浜式塩田による製塩業で栄えました。明治期に入り、塩の専売法の制定を機に、製塩業から塩に関連性の高い苦汁（にがり）などの無機化学品を扱う商社㈱馬居商店となりました。昭和40年（1965年）に㈱馬居商店から現在の「馬居化成工業㈱」に社名を変更し、重硫酸ナトリウム製造を開始しました。

1968年に合成法による硫酸マグネシウムの製造技術を確立し、1970年には本社のある鳴門市黒崎に硫酸マグネシウム工場を新設し、現在に至っております。

会社に残る昔の登録商標

## ❷ 現在の主力商品はどのようなものですか？これまで、どのような商品に力を入れてこられましたか？

現在、主力製品である硫酸マグネシウムは、医薬・化粧品・食品添加物・肥料・工業用など40グレード（等級）を備え、純度99.99％を達成する高純度品を生産しており、生産量・販売シェアともに日本一を達成しています。硫酸マグネシウムは「エプソムソルト」と呼ばれ、最近ではハリウッドセレブなどの美容品に使用され話題になっています。

弊社では、新規事業としてB to B用途に加えB to C用途として硫酸マグネシウムオリジナルバスソルトも開発しております。他にもディーゼルエンジン車用の排ガス処理剤であるアドブルーを生産しています。化学品メーカーであると同時に100アイテムを超える化学品商社としても、幅広いお客様とお取引させて頂いております。

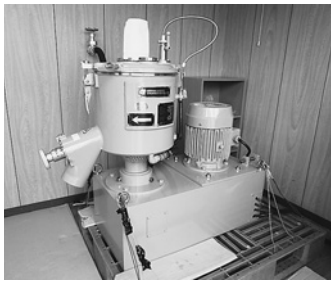
シェアNO.1の主力商品である硫酸マグネシウム

## ❸ 2年連続、本事業に採択されておりますが、それぞれの事業の成果と、今後の展開についてお聞かせ下さい。

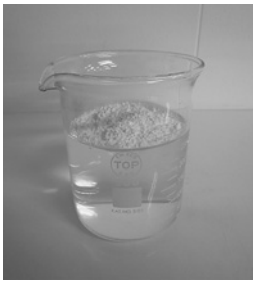
### ⑴ 粉体加工技術を適用した高機能性無機化学製品の開発（平成24年度採択事業）

硫酸マグネシウムは水溶性化合物で、無水硫酸マグネシウムは高い溶解熱を有します。

本事業により、無水硫酸マグネシウムを温感材料として利用するために、粒子径を調整し、溶解速度の制御機能を有する、表面処理微粒無水硫酸マグネシウムの製造方法を確立しました。今後は、シャンプーやトリートメント、スキンケア商品などの化粧品関連商品に配合し、温感材料としての用途展開を考えています。



導入した試作機器



溶解機能を制御した硫酸マグネシウム

### ⑵ コンクリート構造物の劣化防止のための無機系表面含浸剤の開発（平成25年度採択事業）

コンクリート構造物の老朽化の対策が求められている中で、予防保全的に構造物の耐久性を向上させる方法として、珪酸塩系表面含浸剤にカルシウム補助剤を併用する方法を提案し、その有効性と効果を透水試験、中性化試験及び防錆試験により実証し、特許を出願しました。今後は、カルシウム補助剤の販売と、本補助剤併用工法を普及していきたいと考えております。

導入した精密分析装置

## ❹ 2回の補助金事業において、1回目は温感効果のある化粧品、2回目は劣化防止コンクリート保護材の開発を取り上げています。随分と対象が異なっていますが、どのようにして開発テーマを見つけるのでしょうか？

営業部門と研究開発部門の連携により開発テーマを常に探索、選定しています。テーマ探索のヒントになる情報を得るためには、幅広いお客様と取引のある営業部門の役割が大きくなっています。

営業部門では、商社として工業薬品や産業資材を販売する中で、市場のニーズや顧客情報を工場にフィードバックし、製品企画や新規製品開発を行い、将来を担う新事業を生み出しております。今回の２つのテーマもこうした地道な営業部門の働きによって見つけてきたものです。

開発テーマを選定した後は、研究開発部門の仕事となり、新製品開発のための具体的な活動（情報収集･研究）を行います。また、従来製品の技術的フォロー、弊社製品の改良についても力を入れております。

## ❺ 長い伝統を守ってこられている御社ですが、経営において大切にしていることは何でしょうか？

経営理念として、仏法の大綱である「三法印」の「諸行無常」、「諸法無我」、「涅槃寂静」を持っています。

①諸行無常（しょぎょうむじょう）
　この世のものは、同じ状態を保つことなく移り変わっていく。
②諸法無我（しょほうむが）
　すべては相対的であり、単独で存在するものはない。人は一人で生きていけない。
③涅槃寂静（ねはんじゃくじょう）
　涅槃とは、煩悩が消された安らいだ悟りの境地。人間の心から欲や怒り、愚痴といった邪念がとり除かれた時、そこに初めて涅槃寂静の状態が生まれる。

①②を自覚・実践することで、はじめて③の涅槃寂静の境地にいたるそうです。個人も企業も同じであり、弊社はこのような経営理念のもと、日々従業員に接し、共に切磋琢磨しております。

2015年より「全国区ブランドをつくる」というテーマの下、自社ブランド製品の開発に力を入れています。㈱ナスアグリサービス様と共同開発した「動物用医薬品シルキーディップ」、半導体生産時に使用される「アクラム」に続き、初めてのB to Cビジネスとしてエプソムバスソルトブランド『NEHAN TOKYO（ねはん東京）』を立ち上げ、東京青山の旗艦店より全国に発信しております。ブランド名は、経営理念である「涅槃寂静（ねはんじゃくじょう）」から名付けました。

弊社はアットホームな社風で、社員一人一人が伸び伸びと自身の特徴を生かし、力を発揮しています。今後もこのような理念に賛同してくれる人が新しい人材として弊社に加わってくれることを願っております。

徳島県の最古企業としての誇りを持ちながら、時代の変遷とともに脱皮し続け、常に発展し続けるよう努力して参ります。

NEHAN TOKYO　店内の様子

販売されている入浴剤

馬居社長

現在日本では、創業100年の企業は約26,000社、創業200年を超える企業が1,200社、創業300年を超える企業が600社、創業400年を超える企業が190社程度あるそうです。（2015年８月時点）

同社は、創業417年の伝統を誇る企業で「常にお客様の視点で物事を考える。」をモットーに、顧客ニーズをとらえた製品の開発・提供をされております。活動の担い手である社員と顧客が強い信頼関係で結ばれていることが長く続けてこられている秘訣の一つだと感じました。伝統を守りつつ、従来の枠組みにとらわれないサービスを展開し、常に新しい技術開発への挑戦で市場を拡大しておられる力強さと柔軟さを感じました。また、高品質な製品作りと同時に商品のパッケージのデザインにもこだわりを持ち、人にも物にも丁寧に向き合う姿に感動しました。

取材中、本事業で開発した「溶解機能を制御した硫酸マグネシウム」を水の中に入れ、攪拌する実験をして頂き、溶解せず水面に浮かぶ工程を目の前で見せて頂きました。確かな技術力と豊かな創造力のハーモニーが新しい製品を生み出す一つの工程を目の当たりにし、この技術が商品として世の中に広がり、人々の生活を豊かにするところが目に浮かび心が躍りました。

馬居社長、本事業ご担当の浅野様、この度はお忙しい中ありがとうございました。

## 企業の概要

○**企業名**　馬居化成工業株式会社
○**所在地**　徳島県鳴門市撫養町黒崎字松島60番地
○**電　話**　088－685－4175
○**ＦＡＸ**　088－685－3054
○**E-mail**　umaichem@umaichem.co.jp
○**HP**　http://www.toku-seizai.or.jp
○**代表取締役社長**　馬居　正治
○**創業**　慶長４年（1599年）
○**設立**　昭和19年（1944年）
○**従業員数**　55名
○**事業内容**　化学品製造業、化学薬品商社業
○**資本金**　3,500万円

# 組合ホットニュース

## 徳島県中古自動車販売商工組合青年部チャリティボウリング大会開催

平成27年12月19日（土）徳島市のスエヒロボウルにて、徳島県中古自動車販売商工組合青年部のチャリティボウリング大会が開催されました。同大会は、お客様、会員、家族間の親睦を深めることを目的に実施されており、参加費の一部は、盲導犬協会や赤十字徳島支部に寄付されています。

第４回目の開催となる今年度は36人の参加者が集まり、企業や団体から多くの協賛品が提供されました。当日は多田　勇夫理事長から挨拶及び始球式が行われた後、ゲームがスタートしました。参加者はスコアを競って大いに盛り上がり、相互交流を図ることができました。

参加者の集合写真

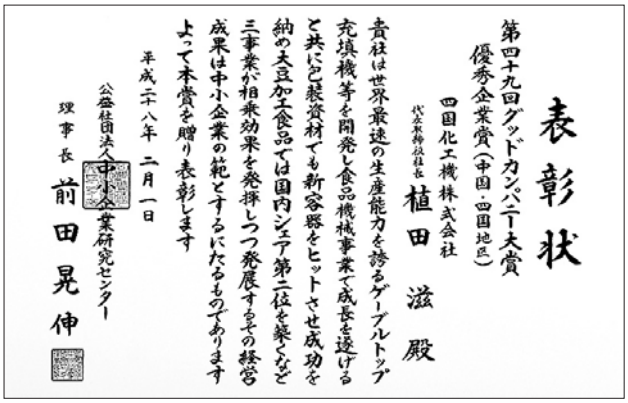
徳島県中古自動車販売(商)　多田理事長からの開会挨拶

## 徳島ステンレス工業協同組合の組合員である四国化工機株式会社がグッドカンパニー大賞において優秀企業賞を受賞！

平成28年２月１日（月）東京の経団連会館にて、「第49回（平成27年度）グッドカンパニー大賞」の授賞式が開催され、徳島ステンレス工業協同組合の組合員である四国化工機株式会社が「優秀企業賞」を受賞されました。

グッドカンパニー大賞は全国の中小企業の中から、経済的、社会的に優れた成果をあげている企業を選んで贈られる最も歴史と実績のある中小企業のための賞です。「優秀企業賞」は、経営の刷新、技術開発、市場開拓、流通改革の分野において特に顕著な成果をあげ、今後も伸展が期待される企業に贈られます。この度、同社は機械、包装資材、食品の三事業が相乗効果を発揮し、発展を続けていることが高く評価され、中国四国地区の「優秀企業賞」として選ばれました。この度は受賞、誠におめでとうございました。

表彰状を授与される徳島ステンレス工業㈱　植田　滋理事長



表彰状

第四十九回グッドカンパニー大賞
優秀企業賞（中国・四国地区）

四国化工機株式会社
代表取締役社長　植田　滋　殿

貴社は世界最速の生産能力を誇るゲーブルトップ充填機等を開発し食品機械事業で成長を遂げると共に包装資材でも新容器をヒットさせ成功を納め大豆加工食品では国内シェア第二位を築くなど三事業が相乗効果を発揮しつつ発展するその経営成果は中小企業の範とするにたるものであります
よって本賞を贈り表彰します

平成二十八年　二月一日

公益財団法人　中小企業研究センター
理事長　前田　晃伸

「優秀企業賞」を受賞！

# 中央会トピックス

## 小企業者組織化特別講習会　開催

平成28年１月11日（月）午前10時より、徳島市のホテルグランドパレスにおいて、花咲かねーさん企業組合を対象に「情報過多の時代に必要なメディアリテラシーを学ぶ」をテーマに、小企業者組織化特別講習会が開催されました。インターネットが一般家庭にまで広く浸透し、膨大な情報が入手できるようになった情報化社会において、真実を見極めながら、自分の必要な情報をどのように取捨選択していけばいいか、フリーアナウンサーの長谷川豊氏よりお話を頂きました。

フリーアナウンサー　長谷川　豊氏

講師から「マスメディアから一方的に流される情報を鵜呑みにせず自ら真実を知ろうとする努力や一度自分で考えて判断することが重要である。」ことや、「身の回りにある生活習慣等、意図的に仕掛けられたものが文化として定着しており、当たり前の常識は、決して正解でなく、様々な情報や意見を聞いた上で判断することが重要である」との説明があり、出席者にとって改めて自分自身や経営において大事なことを振り返るきっかけとなり、大変有意義な時間となりました。

## 組合管理者講習会　開催

公認会計士の後藤　吾郎氏

平成28年２月16日（火）午後１時30分より徳島経済産業会館において、「組合の決算・税務手続き」をテーマに、組合管理者講習会が開催されました。同講習会は、毎年決算期の迫ったこの時期に、正しい組合の会計知識を身につけてもらおうと中央会が開催しております。

公認会計士の後藤　吾郎氏から、期末における決算手続きや組合員の脱退に伴う個別問題を重点に、経理処理のポイント並びに決算関係書類の書式について解説がありました。

また、平成27年税制改正やマイナンバー制度についても説明され、参加者は熱心に耳を傾けていました。その後、参加者からの個別相談に対応し、閉会となりました。

# 本会が徳島県企業BCPに認定されました

平成28年２月１日（月）午後１時より、徳島グランヴィリオホテルにおいて、「徳島県企業BCP認定制度認定証交付式及び認定企業プレゼンテーション」が開催され、当会を含む５企業が認定を受けました。当会では、今後起こりうる南海トラフ巨大地震等の大規模災害の発生に備え、「実践力の高い」企業BCP（事業継続計画）の策定に取り組んできたことが評価され、この度徳島県企業BCP認定を受けることができました。

認定証交付式後には、各認定企業から自社のBCPの取組みについてプレゼンテーションがあり、その後BCPトップセミナーが開催され、天野産業株式会社BCM推進チームリーダー　古江　早苗氏より「経営戦略としてBCに取組む～事業継続活動を通じて地方創生を目指す～」をテーマに講演が行われました。古江氏のお話を聞いて、当会としても、事業継続力及び災害対応力の向上を図るために、今後も教育・訓練を行うことによって課題を発見しつつ、BCPの見直し・改訂を行い、緊急時において早期復旧できる態勢作りに努めていきたいと考えております。

**◈◈◈平成27年度徳島県BCP認定企業一覧◈◈◈**

**[特　別　枠]**　株式会社松本コンサルタント・株式会社フジみらい

**[一　般　枠]**　株式会社姫野組・株式会社はなおか

**[商工団体枠]**　徳島県中小企業団体中央会

徳島県企業BCP認定証交付式にて

徳島県BCP認定をうけた５企業

# 「災害時中央会間連携協定事業」に係る交流事業開催（鳥取県鳥取市）

平成28年３月８日（火）～９日（水）、鳥取県鳥取市において、災害時中央会間連携協定に基づく交流事業の一環として、本会山本会長をはじめ徳島県内の組合関係者等が鳥取県を訪問し、企業視察並びに意見交換会・交流会を開催しました。

企業視察では、鳥取県鳥取市の協同組合鳥取鉄工センターの組合員企業である安田精工株式会社と、協同組合鳥取金属工業会の組合員企業である株式会社鳥取メカシステムを訪問し、各社の製造工程や防災対策などの説明を受けるとともに工場見学を行いました。その後、鳥取市内のホテルで開催された意見交換会・交流会では、鳥取県から20名、徳島県から16名が参加し、今後の両県の連携事業の推進等について活発な意見交換がなされ、両県の親睦が深まる有意義な時間となりました。

安田精工㈱　企業視察

㈱鳥取メカシステム　企業視察

両県による意見交換会

# 青年部コーナー

## 青年部活動トピックス

### ◇「あわとーーく」を開催しました！ ◇

平成28年２月６日（土） 徳島県立総合福祉センターにおいて、あわとーーく（企業と学生の交流会）を開催しました。包括業務提携を結んでいる中央テクノスクールと徳島商業高校の学生から78名の申し込みがあり、ＵＢＡ（青年中央会）、ＹＥＧ（会議所青年部）、商工会青年部連合会から15社が参加しました。また、合同会社アースボイスプロジェクトの監修のもと、徳島商業高校の学生が制作した徳島の中小企業のＰＲショートムービーを３本上映し会場の雰囲気があたたまった後、各社趣向を凝らしたフリートークで大いに盛り上がりました。参加した学生からは「とても楽しかった。このような機会があれば次回も是非参加したい。」「色々な話が聞けて、働いてみたいと思いました。」などの嬉しい意見を沢山頂きました。

参加企業経営者と学生の交流の様子（上下）

### ◇ 平成27年度 新年互礼会 ◇

徳島県商工労働観光部　仁木　弘副部長

同日平成28年２月６日（土）、 サンシャイン徳島アネックスにおいて、平成27年度青年中央会新年互礼会が開催され、総勢41名にご参加いただきました。ご来賓として、徳島県商工労働観光部 副部長 仁木弘 様、愛媛県中小企業団体中央会青年部協議会 会長 金井芳臣 様を始め、多数のご来賓の皆様をお迎えし、徳島県中小企業団体中央会 副会長 平石元治様に乾杯のご発声をいただき、今年の青年中央会の活動への期待を込めて乾杯となりました。

最後に、徳島県商工会青年部連合会　会長　井内高志 様より中締めをしていただき、盛会のうちに閉会となりました。

### ◇ 四国ブロック青年中央会会長会議に出席 ◇

平成28年２月19日（金）、松山市の道後温泉旅館常磐荘において「四国ブロック青年中央会会長会議」が開催され、徳島県中小企業青年中央会からは岡田会長、渡辺副会長、事務局阿部の３名が出席しました。

四国ブロック会長の金井氏が議長となり、開催されました。全国の役員人事について報告があり、続いて平成30年に四国ブロックが当番となる全国総会・全国大会の予定について協議しました。

### ★今後のスケジュール★

○ 平成28年４月下旬　　平成28年度 第１回 役員会

平成28年1月

# 情報連絡員レポート(前年同月比)

この報告結果は、徳島県下の中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員49名に委嘱している中小企業団体情報連絡員による報告を抜粋掲載しております。

**《全体の景況》**

原油価格下落により、採算の好転に期待できる業界や需要の増加に伴い、好調を維持している業界が見受けられた。しかし、１月前半までの暖冬やその後の大寒波などの異常気象が響き、全体としては県内中小企業の景況感は悪化した。今後とも中国や新興国、資源国経済の下振れリスクや地政学的リスクの高まりが懸念される中、最近の円高の進行、株式市場の不安定推移、加えて深刻化する労働力不足など、県内中小企業において経営をしていく上での不安材料が多い状況が予想される。

**《各業界の情報》**

**【製造業】**

**＜食料品製造業＞**

**［味噌］** 味噌の生産量及び出荷量は増加し、設備操業度も上昇した。主原料である外国産米の価格は、僅かに値上がりした。

**［菓子］** 業況が悪化しており、業況を好転させる為には商品構成や販売方法、品質等の再構築が必要である。

**＜木材・木製品＞**

**［木材］** 販売価格が弱含んでおり、取扱い数量においても微々たるものであり、売上高増加には結びついていない。製品が売れず、年明け後も建築需要は低調に推移している。

**［木材］** 売上高減少。収益状況悪化。新春を迎えても、経済動向からは好景気を期待できず、景気に対して先行き不透明な状態である。

**＜印刷＞**

**［印刷］** １月は12月に引き続き稼働日数が少ない月であった。受注量や定期刊行物において対前年比減少が目立ってきている。

**［印刷］** 受注もそれなりにあったものの例年の売上高を上回ることができなかった。地元商店街からの販促印刷物の需要は皆無に近い状態であり、今後の需要確保に先行きの見えない絶望感に押しつぶされそうだ。

**＜窯業・土石製品＞**

**［生コン］** １月は年始の休暇や公共工事の低迷で稼働日数が少ない上に、積雪の影響で営業できない要因が重なり、出荷量は激減した。

**＜鉄鋼・金属工業＞**

**［鉄鋼］** 業況は横這いで推移しているが、一部の組合員企業では売上高の減少や収益状況の悪化が見受けられる。

**［ステンレス］** 売上高減少。収益状況不変。国内景気の動向は、設備投資意欲の回復に期待が懸かるが、海外情勢においては中国や新興国、資源国経済の下振れリスクや地政学的リスクの高まりが懸念されている。

**＜一般機器＞**

**［機械金属］** 一般設備関連機械の一部で受注に上昇の兆しが見られるものの、売上高や収益状況への変化は見られない。今後、中国経済の失速や原油価格・株価下落に伴う国内経済への影響が懸念される。

**【非製造業】**

**＜卸売業＞**

**［各種商品卸］** 組合員企業からは異常気象によるエアコンの販売不振に加えて、太陽光発電設備の需要が落ち込んだという声が聞かれる。

**＜小売業＞**

**［繊維卸］** 売上高不変。収益状況不変。資源安の恩恵は、非資源関連の中小企業の収益が向上すると見られているが、一部の中小企業において収益状況が悪化に転じると予想される。

**［ショッピングセンター］** 昨対比はスーパー100%（食品100%、衣料99%）、専門店113%であった。店舗全体では昨対比105%という結果であったが、業況は不変であった。寒波の影響で、冬物衣料品の売上げが回復傾向にある。

**［プロパンガス］** 寒波による影響で、給湯器の故障による交換需要があったものの、売上高は減少した。

**［電気機器］** ＬＥＤ照明関連商品の売上高が昨年以上の伸長であったが、業況は不変であった。１月中旬の寒波の影響で、点検及び修理の需要があった。

**［畳小売業］** 年始から中旬にかけては需要が好調であったが、中旬以降積雪の影響により稼働率が低下した。

**＜商店街＞**

**［徳島市］** 中旬の寒波による気温の低下で、冬物商品の動きが活発であり、久しぶりに客足が伸びた。

**［阿南市］** 新年になっても業況に変化は見られない。

**＜サービス業＞**

**［土木建築業］** 需要の増加により暫くは多忙な状況が続くと思われる。労働力不足を懸念し、雇用人員の増加に努める。

**［自動車整備］** 登録車の新車登録は対前年比＋3.1%、中古車は＋9.8%、トータル登録車は＋4.4%となった。一方軽自動車の新車登録は対前年比－4.1%、中古車－0.6%、トータル軽自動車は－3.4%であり、増税による前年割れが続いている。

**［旅行業］** スキーバス転落事故や海外テロの治安情勢悪化による影響が広がっており、売上高は減少した。

**＜建設業＞**

**［建設業］** 公共工事が低調に推移している。公共工事設計労務単価が見直され、徳島県では平均約６%上昇した。

**［鉄骨・鉄筋工事業］** 工場の設備操業度が低下し、収益状況も若干の悪化となった。

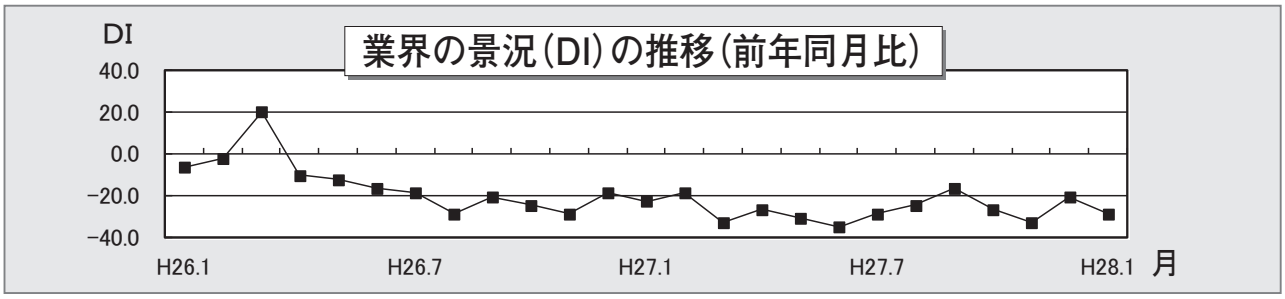
**［板金工事業］** 新築・リフォーム工事の需要が好調を維持しており、売上高も増加した。

**［電気工事業］** 住宅新設口数は、230件(対前年比82.5%)と大幅に減少した。

**＜運輸業＞**

**［貨物運送業］** 今年は特に荷動きが少なく、低調に推移している。一方軽油単価は、対前月比平均で約８円の値下がりとなり、業界にとっては収益状況が好転となる好材料である。

**［貨物運送業］** 年末需要期の反動で輸送量が低調であった。一方、燃料価格の下落が続いている事により、コスト面では採算の好転に期待できる状況が続いている。




※DI値とは、各景況項目について「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値

ちょっとお時間いいですか

# 父と母

「私、女学校時代勉強大嫌いでね、早く卒業したいと思っていたの。それで卒業式の日ありったけの教科書を鞄に詰めて、一人で万歳を叫びながら新町橋から放り投げてやったのよ。そりゃあスッキリしたわ。」僕の高校の同級生が４～５人いる前で例のごとく母のトークショーが繰り広げられていた。友人たちは「わしらもやろう。」と言っていた。母は社交家でもあり話を面白おかしく話すので僕たち同級生にも人気があったのだ。「今みんなが使っているプールは、私の女学校時代からあって、私水泳部の短距離選手だったのよ。私が水着を着てプールに降りていくと塀の上から他校の男子生徒がズラリと顔を並べているの。みんな自転車の荷台の上に立って私を眺めているのよ。そりゃあ私スタイルも良かったからね。卒業してから私の水着姿が新聞に掲載されたぐらいだからね。」などと得意げに喋って、やんやの喝采を浴びていた。今はセピア色になってしまった写真の中の若い頃の母は、原節子に劣らぬ美形だったので、こんな話もまんざら風呂敷広げとは思わなかった。こんな母を僕は自慢に思っていた。

父と母の出会いは、母が当時丸新デパートにあったツーリストビューロー（現在のJTB）に勤めていた折、たまたま切符購入のために立ち寄った父が母を見初めたことに始まった。そこから両親に頼み込んで仲人を捜し結婚までこぎ着けたという。父は剣道２段の腕前で、一級建築士の免許を持っていた。満鉄（南満州鉄道）に勤め、駅舎の設計や監督、建物管理をしていたそうだ。シルバーグレイがよく似合い、見かけも良かったので、僕は連れ立って歩くのが誇らしかったのだが、65才でその生涯を遂げた。胃がんを患ってのことだった。給料日には、必ず宝くじを買って帰ってきた。それを、朝の新聞で当選番号を探しては、その都度失望していたが、それを退職まで続けた。一度だけ１万円が当った事があって、大喜びをしていた表情が忘れられない。

僕たちは、終戦後故郷へ引き揚げてきた。幸い父の実家は、大空襲から免れて、２階建てで寄せ棟造りの家屋が無傷のまま残っていた。それを僕が大学生の時、鉄筋コンクリートの住宅に建て替えた。帰国時、僕はまだ２才だったから、満州での生活はもちろん帰国時の状況は覚えていない。満州の生活でよく母が「満州はとっても寒いところでね、雪が積もるの。買い物に行くときはあんたをそりに乗せてね先端のひもを引っ張って連れて行ったものよ。うんちなんかね、すぐカチンカチンに凍ってしまうの、だから中国人は穴を掘ってそこで用を足すの、それを積み重ねるとうんちの氷柱ができるのよ。」と言っていた。

実家には、祖父は若死にし、母親と父の妹二人がいた。帰国後父は、県庁に勤めた。父は、僕の目からは、実直で仕事好きのように見えた。常に方眼紙を携えて、建物の間取りなんかを考えているようだった。僕の姉を病で２歳半ばで亡くしたために、父と母は僕を溺愛した。その証拠に僕の小学校時代の集合写真を見るとクラス全員の写る中で他の児童たちは終戦間もないことから、着ている物はヨレヨレでくたびれた

服をまとっているが僕だけはネクタイをし、半ズボンにジャケットを装い真ん中に座っている。また家の庭には、ブランコやシーソー、砂場などを父が大工さんや鍛冶屋に作らせて設置していた。僕は得意だった。当然ながら僕は仲間のみんなから羨ましがられる存在になった。小学生になったとき僕ら仲間たちの間で野球が流行ってた。三角ベースでよく遊んだ。父ともよくキャッチボールをした。母が布を縫ってグローブを作ってくれた。うれしかった。中学生になって父が革製のグローブを買ってくれたときはもっとうれしかった。毎日ドロースで磨きピカピカのグローブで野球を楽しんだ。当時県庁の給料は、安かったようだった。僕の家には頻繁に建設業の営業マンが出入りしていた。今では信じられないが、おそらく入札の情報を得るためだろう。父は頼まれて民間のビルなんかを設計し、家計を助けているようだった。それでも母は、給料日前には、支払い先を書いた袋を丹念にいくつも作って、足りない足りないと言っていた。母は友達と大阪まで買い物に行ったり、遊びに行って当時はやっていたロカビリーなんか楽しんでくることもしばしばあった。僕が高校生になるまでは、夫婦仲は非常に良かったように思う。手製の卓球台で、夫婦でピンポンを楽しんでいる光景をよく見た。その後、夫婦仲が少しずつ悪くなっていったように思う。晩年は母が父をなじっていることが多くなっていった。それはたいてい父の判断力に対する悪口だった。僕が結婚したときあたりからさらにエスカレートしていった。母は、父が満鉄に勤めていたとき給料の半分を実家に仕送りしていたこと。僕の高校受験の際、先生が勧めてくれた学校に行かず父が近い方がよいと言って、ランクを下げたために大学のレベルが低くなってしまったこと。僕が見合いしたとき、父が母の言い分を聞かずに父が気に入って結婚させたこと。引き揚げてきたときには未婚の義理の妹にいじめ抜かれたのに父は助け船を出さなかったことなど止めどがなかった。それはたいてい夕食の時だった。父は、晩酌をチビチビ飲みながら母の毒付きを黙って聞き流していた。時折腹に据えかねた父が怒鳴ることはあったが、たいていは母の興奮が収まるまでやり過ごしているようだった。一度だけ父が飲んでいたお銚子を茶箪笥に投げつけて母を殴ろうとしたときがあった。あれはびっくりした。その時僕は身を挺して母を守ったけれど、内心は父に同情していた。毎日のようにこれをやられたらそうなるのも無理ないなと一瞬そう思った。だから父が胃がんを患いあっちこっち転移し亡くなったときは半分は母のせいではないかと思った。父が亡くなるとその対象は僕に変わった。「嫁の尻にしかれて母親をいじめる。」と言って毎日僕を責め立てた。「遺産はあんたにやらない、すぐ出て行け。」と言う。それで一時近くのアパートに引っ越したら、今度は帰ってこいと言う。「家を建てさせてくれたら帰る。」というと母は渋々承諾した。家屋を建築し出してからも揉めた。「増築でよいではないか、玄関やトイレや風呂などは、一カ所で十分ではないか。」と言うが、僕は「母屋とは廊下でつなぐ構造だから大丈夫。」と説得し新築にした。しかし、家に戻るとまた「近所中に大恥をかいたではないか、この親不孝者」となじって僕を責めた。しかし一方では、母は孫たちは眼に入れても痛くないほどかわいがり、妻の悪口以外は僕たちの負担を軽減してくれたので、僕たち夫婦にとってもありがたい存在だった。もちろん妻もこの後も働きながら食事の支度から母の面倒は厭わずしていたように思う。その母も、糖尿による心筋梗塞で去っていった。78才だった。

今の私は、父が亡くなった年齢から6年も長生きしている。この年になるまでに食道がんと肺がんを患ったがあえぎあえぎだが何とか生きている。そしてたまに父や母のことを思い出す。現在僕は、妻にイビられている。因果応報とはこういう事かなと思う。　　（忠）

# 楽にいこう

前回は「コミュニケーションエラーはなぜ起こる？」と題し、私たちの会話の中に潜むエラーの原因（省略・一般化・歪曲）についてご紹介しました。これらを少し意識するだけで、コミュニケーションの質の向上やエラーの減少を実感していただけたのではないでしょうか。

とはいえ、いくらエラーが減ったところで、どうしても気の合わない人もいますよね。そんな人と接するときに感じるイライラ感は誰しも経験があると思います。それも１度や２度ではないはずです。今回は、そんなイライラの解消に少しでも役立つ方法をご紹介します。これは対人関係はもちろん、自分自身の内面の葛藤を解消するときにも有効ですので、ぜひ活用してみてください。

## 『　あなたが変われば世界も変わる　～どんな行動の背景にも「肯定的な意図」がある～　』

### ◎肯定的な意図とは

私たちの行動の背景には、必ず肯定的な側面があると言われています。たとえそれが一見ネガティブに思えるものにでもです。

例えば「ダイエットをしたい」と思いながらも夕食後のスイーツが止められず、自分の意志の弱さを嘆き、自己嫌悪に陥る……あなたにも似たような経験がありませんか？

この食後にスイーツを食べてしまうという行動はダイエットのためには望ましくない行動かもしれません。しかし、そんな望ましくない行動の裏側にも、そこで得られる何かしらの肯定的な感情や意味があるはずです。このケースでは、ささやかな充足感かもしれませんし、明日へのリセットの為に必要な行動なのかもしれません。必ず肯定的な感情や結果を得ているのです。ですので、自分の意志の弱さを嘆くよりも、まずはその行動をすることで何を得ているのかをしっかりと感じてみましょう。そして、その得ているものを失わずに目的を達成する（ダイエットする）方法を考えてみてください。その感情を得るためにもっと別の方法がないかとか、スイーツの量を減らしてもその感情を得られるかとかといった具合に。

### ◎肯定的意図を感じて自分を受け入れよう

もう少し別の例で考えてみます。

会社員のＡさんは、起業して自分の会社を持つという夢を持っています。しかし、なかなか勇気が持てず行動に移すことができません。そんな自分に対し、いつしか「臆病で行動力が無い、こんな自分じゃ何をやってもダメだ。」などと自己否定をするようになっていました。

そんなある日、友人からこんな質問を受けました。「行動をしないことで何か得ているものがあるとすれば、それは何だと思う？」

はじめは、そんなものは何も無いと思いましたが、「行動しないことをあえて自分で選択している」と仮定したら、会社員のままでいることで、①安定した収入を得ている。②そのことで自分自身の精神的な安定を得ている。③家族の生活を守るという責任を果たしているという感覚を得ている。ということに気づきました。

そうすると「行動できない臆病な自分」を責めるのではなく、「安定感を大事にしている自分」「責任感のある自分」として自分を受け入れられるようになりました。

こんなふうに、やらなければならない（と思っている）ことで、それを先送りにしている場合、「やらない」ということを積極的に選択していると仮定して、そのことで何を得ているかを感じることができます。そして、そこから得ているものを大切にしながら（このケースでは安心感や責任を果たす自分）を満たしながら夢や目標に近づく方法を探っていくことが大事です。

Ａさんの場合は、まず副業としてビジネスを始めてみることかもしれませんし、家族の理解や協力を得ながら行動を起こすことかもしれません。

### ◎嫌なあの人にも肯定的な意図がある

あなたの周りには、あなたとは考え方の違う上司や部下、家族がいませんか？それが原因で大きなストレスを感じてしまうこともあると思います。相手があなたに合わせてくれたら楽ですが、そんなことはあまり期待できませんよね。そんなときはあなたの方から変化を起こす方が得策でしょう。

先ほどのＡさんの例のように、人の行動の裏には必ず肯定的な側面（得ているもの）があります。あなたの嫌なあの人の言葉の裏にも肯定的な意図があるはずです。

こんな例で考えてみましょう。

いつも前向きで「考えるより、まず行動」がモットーのＸさん。その行動力は誰もが認めるところですが、やや暴走気味な面があります。

その上司であるＺ部長は「石橋を叩いてもなお渡らない」と揶揄されるほどの慎重派です。Ｘさんはいつもｚ部長に「君は考えて行動しないからダメだ。」とか「君は策が無さ過ぎる。」とダメ出しを受けて、Z部長の存在を疎ましく思っています。

この場合、Ｚ部長の言葉の裏側にある肯定的な意図はなんでしょう？「Ｘさんに失敗してほしくない（＝Ｘさんを守りたい）」かもしれませんし、「Ｘさんが計画性を備えたらさらに能力が向上する（＝Ｘさんを成長させたい）」かもしれません。

このように考えれば、Ｚ部長の存在は、疎ましいのではなく、Ｘさんにとって自分とは違う価値観を持った頼もしい上司に変わるかもしれません。

このように、ネガティブに見える言動の裏にも、必ず肯定的な側面（意図）があります。相手の発言や行動の表面的な部分だけを見るのではなく、その奥にある動機や相手が大切にしている想いなど肯定的なものを探り、何かしら共感できる部分や理解できる部分を探ってみてください。

**◎さぁあなたから変化を起こそう**

一見ネガティブに思える自分の行動の背景にある肯定的な意図を感じることで、自己肯定感を高めて、行動につなげていきましょう。

他者の言動の背景にある肯定的な意図を感じることで、苦手な人とも相互理解を深めコミュニケーションを円滑にすすめましょう。

ただし、先の例で言うと、ひょっとしたら、Ｚ部長はＸさんが失敗をすることで自分が傷ついたり、責任を問われたりしたくない（＝自分を守りたい）だけ……といった残念な場合もあると思いますのでちょっと注意が必要です。

対人関係において、これをやり過ぎるとかえって疲れますし、あなたが大事にしているものを守れなくなってしまうこともあるかもしれません。できるところから少しずつ実践してみてください。きっと何かしらの変化が生まれるでしょう。　（M）

# 編集後記

◆第138号発刊にあたり、関係機関の方々からご協力いただきありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

---

◆今回は「四国の元気な組合紹介します」と「マイナンバー制度」について特集を組みました。今後の組合運営に役立てて頂ければ幸いです。ご不明な点等がありましたら、お気軽に中央会までお問い合わせ下さい。

---

◆今回の「ものづくりの達人」では、馬居化成工業株式会社様を訪問させて頂きました。
この度の取材で「三法印」の教えによる人づくりと時代のニーズにあわせたものづくりがうまく結びついていることを知り、大変勉強になりました。400年以上の長い年月をかけて培ってきた高い技術力を活かし、時代とともに常に発展し続ける逞しい姿に感銘を受けると同時に、同社のような伝統のある素晴らしい企業が徳島の地に存在していることを誇らしく思いました。今後益々のご発展とさらなる飛躍を祈念致しております。この度は貴重なお時間を頂き、ありがとうございました。

---

◆「ちょっとお時間いいですか」のコーナーは作者（忠）の希望により、第138号をもって終了致します。作者の忠さまには長年に渡り当情報誌の執筆をして頂きました。多くのファンがいる人気コーナーが今号で最後になるのは誠に残念ですが、これまでお忙しい中、ご寄稿下さいました忠さまにこの場を借りて御礼申し上げます。これまで長い間、笑いあり涙ありの素晴らしいエッセイとイラストで私達を楽しませて頂き、本当にありがとうございました。

---

◆昨年のW杯での日本代表の活躍に魅了され、すっかりラグビーにはまっています。W杯後に開幕したトップリーグの試合を何度か観戦してきました。肉体がぶつかりあう音、スピード感、時折吹く風も気持ち良く、生観戦ならではの臨場感や迫力を味わってきました。2019年９月に日本で開催されるW杯が今から楽しみです。その前に今年はリオ五輪もありますね。今年は観戦だけでなく、少しは運動をしようと思います。

vol.04
平成27年度 第4号
（年間4回発行 通巻第138号）

組合活性化情報

# 中央会とくしま

徳島城公園の石垣　　水彩画/布川　嘉樹

組合活性化情報 中央会とくしま vol.04
平成27年度 第4号 | 年間4回発行／通巻第138号 | 発行日／平成28年3月24日 発行者／徳島県中小企業団体中央会 〒770-8550 徳島市南末広町5番8-8号（徳島経済産業会館3階） TEL.088-654-4431(代) FAX.088-625-7059